日本福祉大学 山形最上オフィス通信

第27号
2019年2月28日発行

Index
1）在学生インタビュー
2～3）同窓会レポート
4）日福トピックス

合格

在学生インタビュー

地元に貢献したい想いを糧に大変な就活を乗り越え掴んだUターン就職

Q．日本福祉大学を選んだ理由やきっかけを教えてください。

もともと岩手を出て他の地域と比較したり、客観的に岩手を知りたい・見たいと考えていました。地域福祉について学びたかったので他の福祉系大学も視野に入れていましたが、社会福祉士の合格者数が多かったので日本福祉大学を選びました。

Q．大学や周辺でお気に入りスポットはありますか？

夏は海水浴が出来て、人もたくさんいて賑わっている内海がお気に入りです。

Q．サークルやアルバイトはどんなことをしていましたか？

大学生のうちにしかいろんな職業を経験できないので、アルバイトはコンビニや飲食店など幅広くやってきました。アルバイト中心だったのでサークルには所属していませんでしたが、大学以外で半田U２２という集まりなどに参加していました。

Q．指定アパートに関するエピソードを聞かせてください。

入学式まで残り少ない時期だったので見学した当日すぐに決めて住み始めました。
引っ越しや一人暮らしが初めてだったので、「寝られる場所とお風呂トイレ別ならどこでもいいや」と思っていましたが、実際住んでみてから収納がもっと欲しいと感じたり、日当たりなど気になるところが増えてきたので、もっと下調べをしてから決めればよかったかな…と少し後悔しています。ですが、指定アパートはみんな同じ日福生なのですぐに友だちができてよかったです。

Q．就活のエピソードを教えてください。

就活で説明会や面接に行く機会が多く、岩手までは交通費も時間もかかるので工面するのが大変でした。そういったこともあり愛知に就職しようかと揺らぎ悩むこともありましたが、もともと岩手に就職するつもりで大学に入学し、地元に貢献したい気持ちは変わらなかったのでやっぱりUターン就職すると決めて頑張りました。卒業後は岩手の障がい者支援施設で頑張ります！

Q．大学進学を目指す高校生や大学生活を送る後輩に向けて、メッセージをお願いします。

大学生活の４年間は長いようで短いです。これは高校生・大学生に関わらず言えることですが、その限られた時間の中で自分のやりたいこと、興味あることに積極的にチャレンジして有意義な学生生活を送ってください。

社会福祉学部 社会福祉学科 4年
月城奈々さん
（岩手県立不来方高校出身）

▶ 大学生活の一番の思い出は「友だちといろんなところに旅行したこと」と話してくれた月城さん（写真右）

◀ 後援会会報「エスパシオ」でこれから就活に臨む後輩たちへ向けて、東北地域を代表して応援メッセージをいただきました（写真右下）

2

地域同窓会

秋田県地域同窓会主催の「地域の福祉課題を探る学習会2018」が、11月10日（土）秋田市の協働大町ビルを会場に開催されました。当日は同窓会員を中心に20名が参加しました。

学習会は、同窓生であり福祉の各分野において活躍されている保坂郁子さん、鶴谷春美さん、石塚直さん3名の事例発表の後、質疑応答や意見交換というシンポジウム形式で行われました。実践経験に基づくそれぞれの発表者の内容は、秋田県だけの課題でなく過疎地域や国全体が抱える問題と解決していかなければならない決意を感じました。

発表テーマは下記のとおりです。

児童養護をめぐる課題：児童養護施設の現状から

重度障がい者の駆け込み宿（重度障がい児者の小規模短期入所施設）の運営を通して

高齢者を在宅で支える（介護保険サービス提供施設）立場から

最後に「3.11後の東北の復興と福島の現状について」と題して、東日本国際大学で教授として教鞭をとる福島県地域同窓会々長に特別報告をいただきました。特に、原発事故後の生活実態についてのお話は憤りを覚え、非常に考えさせられました。

半日の学習会を終えて、最後は懇親会で情報交換を行い、充実した学習会となりました。今後も同窓会の枠を超えて、より多くの福祉に関係する方々に参加していただく企画に育っていってほしいと思います。

毎年一般入試前期日程に合わせ、仙台市にある「てなんご」にて開催されている総会・新春懇親会は、大学職員のほか同窓生・通信教育部在学生等、今年度は総勢14名が参加しました。

総会では菅田会長から今年度の活動や来年度の事業計画等を報告されたほか、4月からは会長職を佐々木副会長へ引き継ぎたいと役員改選について話されました。仕事等の関係で会長職をこのまま継続することが難しくなってしまったこと、同窓会は変わらず大好きであることを語られ、長い間宮城県地域同窓会の会長を務められた感謝と労いの言葉を佐々木副会長が述べ、参加者の皆さんも大きな拍手を送りました。

懇親会では、一人ひとりの福祉に対する姿勢や母校への想いが伝わる熱い自己紹介が繰り広げられました。精神保健福祉士を目指している通信教育部在学生の方は、県内で精神保健福祉士として活躍されている方をはじめ諸先輩方から様々なアドバイスをいただいていました。

2月2日（土）
宮城県地域同窓会

活動レポート

第31回 日本福祉大学社会福祉セミナーin山形 開催決定！

本学は毎年、「日本福祉大学セミナー」を全国各地で開催しています。

2018年度の愛媛よりバトンを受け取り、2019年度は山形で開催することが決定しました。第1回実行委員会が1月12日（土）に山形七日町ワシントンホテルにて行われ、山形県地域同窓会の皆さんと山形最上オフィス含む大学関係者14名が出席しました。

さすが毎年、定期総会の後に設けている参加者交流の場“集いの会”でユニークなアイデア満載な企画を実施している皆さんだけあって、「どれも良くて絞るのが難しい」と声が上がるほど様々な案や意見が出ました。

話し合いの中で、「視察した愛媛セミナーでは、色んな工夫がされていておもてなしの心がよく伝わり、“愛媛らしさ”にあふれていた。私たちも、山形らしさを大切にしたセミナーを作れると思う」と視察報告があり、新関会長は「山形は会員約150名の小規模同窓会だが、日本福祉大学らしい【学び】と【山形愛】を感じられるものにしたい。優秀な母校の教授陣に依頼し、実質的な学習の場となるようにしたいと思う」と皆さんの考えと目指す方向性をまとめました。

日本福祉大学セミナーin山形は、11月16日（土）山形国際ホテルで行います。成功に向け、実行委員会一丸となって一人ひとり楽しみながら準備を進めていきます。

◂ 山形七日町ワシントンホテルでの第1回実行委員会にて。

ミニ 卒業生の声

今回は山形県地域同窓会の役員とセミナーの実行委員を務める若手のホープ、細谷さんにインタビューを行いました。

Q. 大学卒業後、どんなお仕事をされていますか？

山形で就職することしか頭になかったので、卒業後すぐに山形にUターン就職しました。特別養護老人ホームで介護職をしていて、昨年度まではショートステイ、現在は入所で働いています。

Q. 地域同窓会の活動に参加したきっかけは何ですか？

山形県地域同窓会の武田前会長が実習指導を担当されていて、その繋がりで地域同窓会に参加しないか？と声をかけていただいたことがきっかけです。

▸ いつも笑顔を絶やさず、明るく元気な細谷さん。同窓会を盛り上げています。

Q. 細谷さんから見た同窓会のいいところや魅力を教えてください。

机中にキャンパスがあった時代のことも教えてもらったり、年代を越えて交流できるのはとても楽しいです。そしてみんな和気あいあいです。様々な職種の方がいるので、自分が知らないことを知れて勉強にもなりますし、色々な角度からアドバイスがもらえるので相談しやすいところが魅力だと感じています。

Q. 同窓会にまだ参加されたことのない卒業生へ、メッセージをお願いします。

山形県地域同窓会は、楽しく無理のない範囲で参加できます。チームワークも抜群なので参加してとても楽しいですよ。ぜひ一緒に参加して楽しみましょう～！

社会福祉学部2009年3月卒業

細谷恭可さん

高校生福祉文化賞エッセイコンテスト

「わたしと福祉」をテーマにした高校生福祉文化賞エッセイコンテストは、未来を担う高校生に「福祉とは、人間の幸福とは」を考える契機にしていただく、また自分の想いを文章にまとめることを教育の一環として活かしていただければとの願いをこめて実施しています。

2018年度第16回となる今期、過去最多の応募となった11,844通の中から16作品の入賞が決まり、学校賞に3校が選ばれました。東北地域では青森997通・岩手25通・宮城57通・秋田31通・山形47通・福島69通の計1,226通応募があり、次の1作品が入賞しました。

第2分野　スポーツとわたし　審査員特別賞

「勝てないことから学ぶ人生」

秋田県立能代西高等学校3年　淺田夏希さん

視点の面白さ、読みやすい構成が評価された淺田さんの作品をはじめ、入賞作品は本学ホームページでご覧いただけます。冊子の「入賞作品集」をご希望の方はオフィスまでご連絡ください。

今年も「大学ブランドイメージ調査2018-2019」で高評価

日経BPコンサルティングが発表した「大学ブランド・イメージ調査2018-2019」において、大学ブランドカランキング東海編で第9位、前回からの上昇率はトップになりました。

また、大学に関する49のイメージ項目（北陸・東海編）において、2項目で第1位を獲得しました。

在学中の資格取得に積極的である **第1位**

地域社会・文化に貢献している **第1位**

地域ブロックセンターFacebook更新中！

NihonFukushiUnivBC

東京・大阪・山形・富山・松本・豊橋・名古屋・岡山・福岡全国9ヶ所から各地域の様々な情報を発信しています。

フォロー&いいね！ぜひお願いします。

編集後記

今年は暖冬で白鳥の北帰行も例年より早く始まり、新しい春が巡ってくるのを感じます。この1年間に感謝しつつ来年度も頑張っていきます。よろしくお願いします。（北條）

「平成最後の●●」とよく耳にした年でしたね。オフィス通信は、6月・10月・2月と発行しているので今回は平成最後の号。新元号でもご覧下さい！（中嶋）

日本福祉大学　山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話：0233-43-9232　メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp

Open：火曜～土曜 10:00～18:00　Close：日曜・月曜・祝日